

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年9月28日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目の下段でございます。10月3日水曜日、(3) 第2回原子力施設等における事故トラブル事象への対応に関する公開会合、こちらが予定されております。

議題は、記載のとおり「浜岡原子力発電所5号機非常用ディーゼル発電機（B）排気管伸縮継手破損による排気漏えいに伴う運転上の制限からの逸脱について」、こちらの事案、6月に発生したものでございますが、こちらについての公開の場での会合の2回目ということでございます。

内容といたしましては、本件に関します原因と対策に係る報告書が提出をされておりますので、それについて内容を聴取すると、お聞きするという予定でございます。

次に、2ページ目上段、10月4日木曜日、一つおきまして、(6) 第1回日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の核燃料物質使用変更許可申請（プルトニウム燃料第三開発室等の変更）に係る審査会合、こちらの会合が10月4日木曜日に予定されております。

こちらの内容でございますが、核燃料物質使用施設に係る審査ということで、通常は事務局のヒアリングで進めている分野ではございますけれども、こちらの申請については、その特殊性を踏まえまして、6月27日の原子力規制委員会定例会において報告を行いまして、その際、公開の会合も交えて審査を進めていくようにと、進めていくことについて、了承を得たところでございます。

こちらの申請の内容は6月27日の委員会で報告されておりますが、概要として申し上げますと、MOX粉末をもんじゅの燃料集合体と同様の形状の保管体として保管するというものを含まものでございました。こちらについて、委員会での方針を踏まえて、公開の審査会合で審査を行うというものでございます。

内容としましては、今申し上げました委員会の定例会のときに何点か指摘事項がございましたので、それに対する対応状況をお聞きするというのを予定しているものでございます。

次に、同じく2ページ目の下段、(8)震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム第5回会合、こちらが予定されております。日には同日10月4日でございます。こちらは、こちらの検討チーム会合の5回目の会合でございます。今回の内容としては、記載のとおり議題が予定されています。

まず、事業者における取り組み状況について、説明をお聞きするという予定でございます。こちらは過去の会合、第2回だったと思いますが、そちらでも事業者における検討の状況について聞いておりますが、その議論を踏まえて、さらに説明を聞くというものでございます。

その上で、議題2として、これまでの会合での議論を整理した上で、議題3といたしまして、地震動の時刻歴波形について、こちらは地震動を策定する際に必要となる、成果として求めるものでございますけれども、この時刻歴波形について、統計処理により作成する上での留意点等について、議論が行われる予定でございます。

次に、3ページ目上段、10月5日金曜日、(9)第2回大山火山の火山灰分布に関する情報収集に係る意見交換会が予定されております。こちらは、議題にもございます大山生竹テフラの産出状況ということに関しまして、事業者、関西電力と意見交換を行っている会合の2回目でございます。今回は、前回の意見交換の際の原子力規制庁からの指摘に対する事業者からの説明・意見をお聞きするというのを予定してございます。

最後に、同じく3ページ目の下段、3.(2)委員の現地視察の予定でございます。10月5日金曜日に、更田委員長が東京電力・福島第一原子力発電所の視察を行うという予定となっております。こちらは福島第一原子力発電所の現状全般を確認するために、現地視察を行うというものでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますでしょうか。

カワダさん。

○記者 朝日新聞のカワダと申します。

委員長の1Fの現地視察の目的というのを教えてください。

○大熊総務課長 こちらは今も申し上げましたけれども、1Fの現状全般を確認することでございます。今、1Fで廃炉に向けて様々な作業が進んでおります。その状況全般について、現時点での状況を視察を行って確認することでございます。

委員長、前回に1F、現地を確認、視察を行ったのが半年ぐらい前になりますので、このタイミングで時間がとれるときに確認に行くということだと思っております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—